卒業論文

大学生の印刷物と電子メディアに関する選好

九州大学　文学部　人間科学コース　社会学・地域福祉社会学専門分野(2005 年入学)

平成 21 年 1 月

1 枚=40 字×30 行

要旨

本論文は情報入手の際の媒体の選択に集団的な属性などの傾向はあるのかについて論じたものである。その際に大学生を対象として量的調査を行い、それを基に考察を行う事を目的としている。

第 1 章では、調査を実施する前に電子メディア、印刷物を巡る現状を見直す事にした。その中で改めてわかったのは急速に進む電子メディアの発達と普及、印刷物の発行部数の低下であった。そして、両媒体を選択する基準を決める要因となるそれぞれの利点と欠点を比較した。さらにはかつて言われたペーパーレスオフィス神話についての言及とそれについて考えた際に明らかになった紙の利点について触れている。

第 2 章では情報入手手段としての両者の現状に注目した。さらにこのような利用者研究の分野においての先行研究に見られた電子メディア・印刷物(紙)の使い分けの実態を検討した。そこでは情報のニーズが生じてから探索を行い入手し利用するまでのプロセスがある事、しかし、そのニーズから語り始めるのではなく利用者の生活やその生活を取り巻く世界・環境に注目して情報探索・入手行動を考察すべきという姿勢が示されている。また、利用者は使いやすさに重点を置いて媒体を選択するという認識も重要である事を確認しておく。その姿勢に基づき聞き取り調査を行ったところ実際にそのような利用者個人の環境によって媒体の選択が行われている事が示唆された事を紹介している。

第 3 章は以上の先行研究を踏まえて学内の学生を対象に実施した調査結果からの考察である。この調査によって情報ニーズのジャンルによって主に利用する媒体は異なる事、また、両媒体には情報入手手段としての利点がありニーズの生じる情報ジャンルに応じてその利点を普段は意識しなくともそれに応じて使い分けている事を考察した。さらに、調査対象者の利用環境(性別・学部・住居形態・読書を好む程度・パソコンスキルなど)で利用者の「使いやすさ」の認識にも影響が及ぼされると予測しその媒体の選好には集団的傾向がある事を示唆している。

第 4 章は情報入手手段時の媒体の選好とは少し離れるが、利用者の印刷物と電子媒体の

今後の行方の意識についての回答について考察を行った。電子媒体の発達によって紙が情報伝達のツールとして使用される事は無くなるのか否か、について様々な回答が得られたが、その考えも媒体の選好と同様に利用者本人の環境に基づいておりある程度の認識の傾向もうかがえる。紙媒体へのイメージが今後の予測を左右している事、その上、そのイメージの形成自体も利用者の置かれた環境によって影響を受けている事が考えられる事を検討した。また、読書は情報入手手段として見なされているのかについても考察を行い、同時に改めて両媒体の利点と欠点について考え、それらの今後に疑問を投げかける本論文を締めくくっている。

目次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

第1章　　現在の生活におけるパソコンの普及

第１節　　幅広い世代へのインターネットの普及と進む電子化・・・2

第２節　　電子ペーパーの開発への取り組み・・・・・・・・・・・・・4

第３節　　印刷物・電子媒体の利点と欠点・・・・・・・・・・・・・・4

第４節　　ペーパーレスオフィスという神話・・・・・・・・・・・・・7

第２章　情報の入手における媒体の違い

第１節　　情報源としての電子メディア・・・・・・・・・・・・・・・8

第２節　　情報源としての印刷物・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

第３節　　先行研究における情報入手の際の媒体の選択・・・・・・11

第３章　大学生の印刷物とパソコンの利用の関係の調査

第１節　　調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

第2節　　仮説の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

第3節　　属性の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

第4節　　情報の種類による媒体の選択の実態・・・・・・・・・・・23

第5節　　仮説の検証・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

第4章　　印刷物と電子メディアの今後

第1節　　大学生の考える未来・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37

第2節　　自由記述から見る両媒体の強み・・・・・・・・・・・・・41

第3節　　情報入手媒体の選択と今後・・・・・・・・・・・・・・・44

おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47

参考文献・参考資料・参考 URL・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48

付録　調査票・単純集計